



2023年度せっけん学習会 主催:グリーンコープ共同組織委員会 開催日:2023年3月15日 (オンライン開催) 参加人数:198人

いのち 生命と環境を守るためにせっけんを使おう

各生協を代表して3つの生協から取り組みの報告がありました

家庭にあるプラスチックを天然素材に

いのちとくらしの委員会では、マイクロプラスチックを排出しない天然素材のヘチマワシを愛用しています。中道支部では、家庭にあるプラスチックのものを天然素材のものに変えようと呼びかける冊子を作成、配布しました。



せっけんの良さを動画でアピール

学習会やキープ&ショップでの取り組みで汚れ落ち実験やクレンザー作りなどを行い、せっけんをアピールしました。昨年10月に開催した「そしままつり」では、組織委員会メンバーのせっけんライフを動画にして紹介し、参加者にとっても好評でした。



全組合員にモニターを募りました

「替替せっけんシャンプー・替替りんす(すや)」の利用普及に力を入れました。チラシを全組合員に配布したり、アピール動画を作成し、年2回のシャボン玉月間に県内すべてのキープ&ショップで上映しました。また、全組合員に募ったモニターには多数の応募があり、選ばれたモニターからは、今後も使いたいという感想が多く寄せられました。



「グリーンコープでんきをすすめるわけ」

グリーンコープは、生命と原発は共存できないと考え、1986年のチヨロノビリ原発事故からずっと原発のない社会の実現を願って運動を続けています。2011年の東京電力福島第一原発事故を受けて、自分たちが使う電気は自分たちで作りだしていこうと、一般社団法人グリーンコープでんきが設立され、2013年から各地に自然エネルギーによる発電所を建設しています。2016年から電気的共同購入事業に取り組み、2019年には原発フリーを実現しました。

「電気の選び方が未来を変える」[安心・安全な食べ物を選ぶように、電気も選びたい][安さだけを追求するのではなく、脱原発の思いが込められた電気を選びたい]。そんな思いから私たちはグリーンコープでんきをすすめています。

さあ、あなたも、グリーンコープでんきに切り替えて、原発の電気を使いたくないと意思表示してください。

※原発フリー...原発依存しない
グリーンコープ共同組織委員会

2023年度 シャボン玉月間がスタートします

期間中は、グリーンコープのせっけん類を充実したラインナップで企画します。お買い得な商品もあるので、せっけんライフを始めるチャンス!

㊧ キッチンのかみそりスプレーが新登場!

さわやかな香りで油汚れに強い天然のオレンジオイル配合。手肌にも環境にもやさしい洗浄剤です。(15号では詰替用も登場!)

せっけんは泡立ちが命! ㊧ キッチンの泡スプレーは、細かい泡やすき間にも泡が届きやすく、リサイクルトレーなどの洗浄に便利! 5徳や水場の目地に直接吹き付けても使えます。いろいろな使い方を試して安心・安全なせっけんライフを楽しんでください。

共同組織委員会 委員長 高橋雅子さん

液体ハミガキが新登場!

カタログGREEN11号では、グリーンコープやまくち生協が開発した㊦ 薬用みんなの液体ハミガキ(ソフタミント)が新登場しました。配合成分にこだわった刺激の少ない液体ハミガキです!

せっけんの良さとは、古代理マ時代に、焼いた肉の脂と薪の灰が混じりできたもので汚れを落とすことのできたことから始まったと言われ、その安全性は歴史が証明してきている。天然の成分でできているので、環境中で微生物によって分解されやすく、水生生物への影響も少なく、水生動物やアトピー性皮膚炎など、人の健康被害も少ないなど、人にもやさしい洗浄剤です。

家庭用品品質表示法での表示名規定

Table with columns: 区分, 界面活性剤の系統を示す用語, 界面活性剤の種類を示す用語. Includes rows for Anionic, Nonionic, Amphoteric, and Zwitterionic surfactants.

図1

せっけんの成分にはこの2種類だけ!

合成界面活性剤

PRTR対象物質 家庭からの排出量内訳 (2020年度)

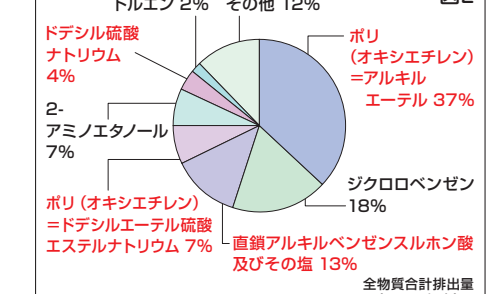


図2 ※赤字は合成洗剤の合成界面活性剤

所轄省庁と表示法規が異なる

Table with columns: 法規(省庁), 対象分野, 表示内容. Lists regulations for consumer goods, pharmaceuticals, and cosmetics.

図3

同一成分なのに別名がこんなに!

Table with columns: PRTR登録名, 医薬部外品, 化粧品, 洗濯用洗剤, 一般名. Lists various names for the same chemical substance like AOS.

図4

しかし、洗浄剤は用途により所轄する省庁が分かれており、それぞれに成分表示の法規が異なります(図3)。また、合成洗剤の成分は、用途によってそれぞれ業界団体が決めた名称があり、同じ成分でも違う名称が表示(図4)している。注意が必要! 具体的な成分表示をせずに「非イオン系界面活性剤」などとだけ書いているものもあり、注意すべき成分が表示されていないものも多数あります。

成分は、鼻から吸い込むと脳のホルモン中枢(下垂体)・自律神経中枢(視床下部)に届きます。視床下部は皮膚からも吸収されます。香りの感受性は個人差が大きく、中には化学物質過敏症を発症する人もいます。米国では2009年に国がフレグランスフリー(無香料・マスキング剤不使用)製品の認可を制度化し、カナダ政府は2019年から職場の無香化指針を公表するなど、海外では無香化を推奨する動きもありました。それに対し日本政府は2021年にやっと啓発ポスターを作成して対策に動き出したが、まだまだ社会には浸透しておらず、解決には程遠い状況です。

せっけんは、肌への刺激が少なく、排水後も分解が早いので環境にも負荷をかけません。合成洗剤からせっけんへ切り替えることは、SDGsの目標とも合致しています。原料も製法もシンプルでせっけんを使うことで、シンプルで環境にやさしい生活をおくることができそうです。*

せっけんは、肌への刺激が少なく、排水後も分解が早いので環境にも負荷をかけません。合成洗剤からせっけんへ切り替えることは、SDGsの目標とも合致しています。原料も製法もシンプルでせっけんを使うことで、シンプルで環境にやさしい生活をおくることができそうです。*

有害な成分には分かりやすい表示を!

化学物質の表示には、国連勧告として採択されているGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)という制度があり、世界的に統一された絵表示で有害性のある物質が含まれているかどうか見分けられることができます。合成洗剤の成分はGHSの「水生環境有害性」に分類されるものもあります。しかし、日本では労働安全衛生法でしか表示義務がなく、家庭用製品には義務付けがないため、消費者には危険性が分かりにくくなっています。家庭用製品にもGHS制度を運用するよう働きかけていく必要があります。



講演 せっけんで守る環境といのち



グリーンコープは、生命に寄り添い環境を守るために、私たち一人ひとりができることとして、生活の中の「洗う」場面すべてに「せっけん」の利用を呼びかけています。2023年度のせっけん学習会では、「せっけんで守る環境といのち」と題し、熊本大学社会福祉学部教授の中地重晴さんを講師に迎え、話を聞きました。また、各生協からは利用普及活動について報告があり、改めてせっけんの利用をすすめてほしいと思いを強くする場となりました。学習会の要旨を報告します。

生命の源である 水資源を守りたい

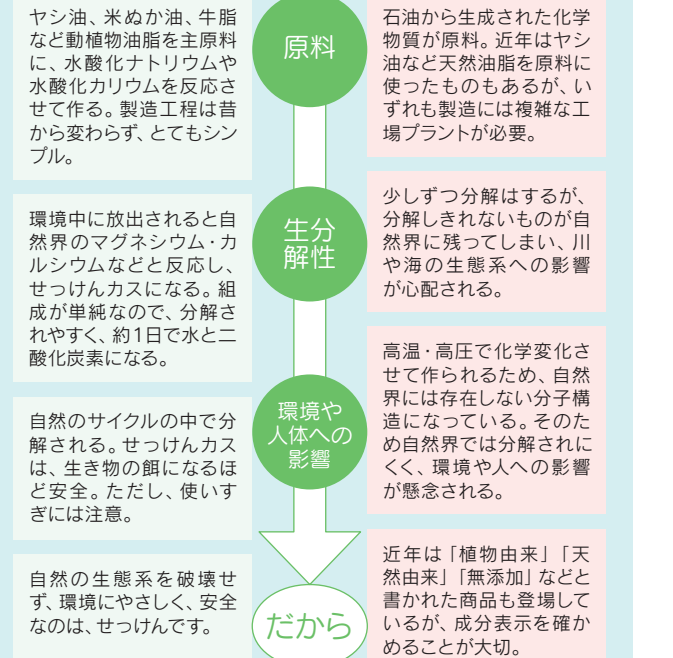
地球の表面の約7割は水。しかし、人間が使える水は、そのうちわずかなO₂1%ほどしか使われています。今私たちが使っている貴重な水は、自然の中で長い年月をかけて循環し、巡り巡って私たちの子どもたちが使うことになりました。1950〜70年代の高度経済成長期、合成洗剤の普及により水環境が汚染され、公害が大きな社会問題となりました。その頃、食べものの安全性や豊かな自然環境を求めて各地に地域生協が誕生し、その中でせっけんの利用が広がったと考へる生協がグリーンコープとして連帯していきました。以降、グリーンコープは「せっけん派生協」として「みどりの地球をみどりのままで、未来の子どものために」という願いのもと、水環境を守るために力強くせっけんの利用をすすめてきました。

暮らしの中に「せっけん」を

せっけんは自然界の中で生み出され、古来から使われていて、人にやさしい洗浄剤です。汚れ落ち、泡切れともに良く、洗濯専用だけでなく、柔軟剤もありません。大切な人の健康や環境を守るため、安心して使える「せっけん」を、毎日の暮らしの中に取り入れましょう!

せっけん と 合成洗剤 どこが違う?

せっけんも合成洗剤も、本来は混じり合わない「水」と「油脂」を結びつけて汚れを落とす仕組みは同じです。しかし、原料や成分、製法に大きな違いがあります。



Green Co-op Green Electricity Fundraising Report: Green Future Solar Power (25,986kWh), Shikoku Power Center (4,823kWh), Chubu Power Center (5,318kWh), etc.

Learning Meeting Feedback: Participants' impressions of the sekkon and environmental education session, and their commitment to switching to sekkon.

Environmental Impact of Fragrances: Discussion on the health risks of synthetic fragrances and the benefits of natural, fragrance-free products.

Simple Life with Sekkon: Encouragement to use sekkon for a simpler, more environmentally friendly lifestyle.

Easy-to-understand Chemical Labels: Information on GHS labels and the Japanese water environmental label.